



国鉄北陸

国鉄労働組合 北陸地方本部

(NTT)076-231-1506(FAX)076-231-1114(JR)065-2393

(Mail)nru-hk@m2.spacelan.ne.jp

 発行人 藤野 能章
 編集人 山田 輝男

春闘回答 JR 西日本・JR 貨物

「生活の改善をはかれない低額の回答」



西日本会社は3月11日、春闘要求に対する回答について、「ベア12,000円」「期末手当5.3箇月分」を回答、貨物会社においても3月13日「ベア2,000円」の低額回答をまたしても行いました。石破首相および経団連においても「賃上げを定着させることが社会的責務」と言われる中での低額回答であります。特に貨物会社においては、4年連続の「有額」回答であるものの、その内容は極めて「低額回答」の連続であります。社員や家族の落胆の声は計り知れません。若者の会社離れの波は、再び大きなものになるかもしれません。北陸地方本部及び各支部・分会においては会社社に対して、怒りの抗議行動を取り組みました。

2025年3月13日

西日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 長谷川 一明 殿

国鉄労働組合北陸地方本部

執行委員長 藤野 能章

「ベア一律 12,200 円」「期末手当 5.3 箇月分」

の回答に対する抗議と要請

国労西日本本部は、安全・安心の職場と鉄道輸送を確立するために、職場で日夜懸命に奮闘している組合員・社員と家族、グループ会社で働くすべての社員の労苦に報いるよう、17,000 円の賃上げや期末手当 6.0 箇月分などの要求を掲げ交渉を行ってきた。

3月11日、会社は国労に対して「ベア一律 12,200 円」、「期末手当 5.3 箇月分」などの回答を行った。この回答は、安全・安心な鉄道輸送を目指し、日々奮闘してきた組合員・労働者の切実な要求である「物価上昇に見合う賃金引上げで生活改善を！」に応えたとは言えない。西日本会社の体力と大企業としての社会的責務を鑑みれば、この回答には納得いかず、国労北陸地方本部は抗議するものである。

相次ぐ生活必需品の値上げによる深刻な生活実態を鑑みるならば、今こそ社員と家族の労苦に応え、物価上昇に見合い、生活改善が実感できる賃上げを行い、健康で安心して働き続けられる労働環境、生活基盤の底上げを図ることこそが経営陣の責務である。

「17,000 円のベースアップと期末手当 6.0 箇月で生活改善を図りたい」と期待する社員とその家族に対し真摯に応えるべく、再回答することを強く要請するものである。

以上

2025年 3月14日

日本貨物鉄道株式会社

代表取締役社長 大綱 新 殿

国鉄労働組合北陸地方本部

執行委員長 藤野 能章


2025 年度新賃金の低額回答に抗議し、「再考」を求める要請書

3月13日、貨物会社は「定期昇給を実施すると共に、2025年7月1日現在（昇給前）の基本給に『2,000 円』のベースアップを実施する」と回答した。

この回答は、安全・安心な鉄道輸送を目指し、日々業務に精励している組合員・労働者の切実な要求である「物価上昇に見合う賃金引上げで生活改善を！」に応える内容ではなく、モチベーションアップや将来への希望を感じるものではない。

貨物会社はエネルギー価格や原材料価格の高騰の影響を受けつつも、4月に基本運賃改定を実施したことで収入は回復傾向にあり、物流の2024年問題や脱炭素に向けた動きを背景に新規事業の展開と、災害対応の迅速化をはじめ、総合物流事業を更にすすめる、貨物鉄道輸送の更なる役割発揮を目標に全社を挙げて取り組んでいる。

25春闘では、少子高齢化と労働力人口の急激な減少により、人材不足による事業の存続も危ぶまれる黒字倒産も顕在化してきており、優秀な人材確保に向け、社員は企業の宝であるとの認識に立ち、必要な賃上げを決断し、労働者にとって安心して働き続けられる魅力ある労働条件を示せるかが企業に求められている。

しかし会社の実態は、繰り返される低額回答に見られるように、社員の労苦に応えることなく、経営課題を前面に社員犠牲を求める姿勢は、社員のやる気をそぎ、将来を展望することが出来ない若年社員を増加させている。国鉄労働組合が実施した賃金アンケートにおいても社員と家族の生活実態は厳しさを増し、労働力に欠かせない再生産費に賃金が追いついていないことを如実に表している。会社の経営の根幹を支え続けている社員に対し健康で安心して働き続けられる労働環境、生活基盤の底上げを図ることが今春闘での企業の社会的責務であり、大幅賃上げを決断すべきである。

2025 年度新賃金の「低額ベア」回答に抗議するとともに、社員と家族の「17,000 円のベースアップで生活改善を図りたい」との期待に対し真摯に応えるべく、再考することを強く要請するものである。

以上